

製品ライフサイクル管理 (PLM) が定義された1990年代後半、CIMdataはすでに、製品について精密・緻密な表現で定義をし、その製造定義、そして結果としての使用や廃棄をドキュメント化、すなわち正確に実態を記録に残し、部品表 (BOM) を他の多くの情報や知的財産にリンクさせた仕組みであるBOI (bill of information)、すなわち製品に関連する包括的な情報 (包括的製品情報目録) の概念についてすでに推進していました。今日、製品ライフサイクルと関連プロセスをサポートするために使用されるツールの多様性に見られるように、無数のアプリケーションが情報を生成します。

今日、常套句は「デジタルスレッド」であり、それは産業界、政府、PLMエコノミー (産業界のPLMビジョン達成を支援するソフトウェアおよびサービス企業を表すCIMdataの用語) によって広く採用されています。残念ながら、これらの関係者の多くは、同じ言葉でまったく異なることを表しており、これは至極一般的なことでもあります。

本フォーラムでは、CIMdataが全体的な課題を明確にして取り上げ、グローバルなPLMエコノミーがどのように対応しているか、また、産業界の顧客がデジタルスレッドの目標をどの程度達成しているかにフォーカスします。

背景

インダストリー3.0の開始と製品ライフサイクルへの初期のデジタル技術の適用以来、企業はライフサイクルアクティビティの中で生成される無数の情報タイプに対処する必要がありました。ポンチ絵やメモ書き、正式な要件、プログラムとプロジェクト計画、初期段階での0-1Dモデル、MCAD、EDAのアウトプット、ソフトウェアのソースコードと実行ファイル、シミュレーションと解析 (S&A) によるテスト結果などは、製品のアイデアからその生涯にわたって製品の進化状況を説明するためには、ほんの一部の情報の種類にすぎません。1990年代後半、CIMdataは、当時出現したPLMの定義よりも前にこの新しい考え方を述べるためにBOI (bill of information) について語り始めたのです。

それは今では、情報システムやストレージデバイスの異種混合な情報を管理する能力は、私たちを驚かせ続けています。今日の考え方は「デジタルスレッド」であり、PLM (およびERPやCRMなど他のアプリケーション領域) 全体のソフトウェア企業や大手サービスプロバイダーによって用いられています。政府機関、特に航空宇宙・防衛分野では、このトピックに強気になっています。「“できる唯一の情報源 (single source of truth) ”」というフレーズが再び脚光を浴び、マスターデータ管理 (MDM - Master Data Management) とデータガバナンス (DG - Data Governance) というアイディアは、皆さんの環境を問わず、健全で正確なデジタルスレッドを維持するために不可欠なものになっています。しかし、ほとんどのバズワードやキャッチフレーズがそうであるように、それらは人や組織によってその意味は大きく異なることです。

1983年の創業以来、CIMdataは業界の向上のためにこのような議論・討論の調整・仲裁を支援しており、ここ数年間、積極的にこのトピックに取り組んできました。CIMdataは、社のPLMの目標を達成するために全面的に信頼依存しているソフトウェアおよびサービス企業とともに、世界の航空&防衛業界の要件のための擁護団体 (advocacy group) である Aerospace & Defense PLM Action Group (AD PAG) を運営しています。2021年、CIMdataでは、業界におけるデジタルスレッドに関する最新技術と実践状況をよりよく理

解するために、また世界のA&D業界並びにより一般的なPLM ユーザーの相互利益のために、これらのソフトウェアやサービス企業のロードマップと計画に影響を与えるのに役立つようなベストプラクティスや業界のニーズをドキュメント化するために、このトピックに関するリサーチペーパーを発表し、AD PAGと主要なソフトウェアおよびサービスのプロバイダーが共同で資金を提供するリサーチを開始しました。

今年のPLM Market & Industry Forum のテーマ「The Digital Thread...」は、AD PAGとPLM エコノミーにおけるこのテーマについて非常に重要な取組みを活用すべく選びだしたものです。最初のテーマ別プレゼンテーションでは、これまでの作業の背景を説明し、デジタルスレッドと関連するトピックを明確に定義し、続くセッションへのフレームワークを提供します。1つは、デジタルスレッドに関する産業界の視点に焦点を当て、このトピックに関する主要な産業界の企業へのインタビューや、A&D以外の産業界からの幅広い視点を獲得するためにCIMdataが実施したWebベースのサーベイを活用する予定です。

2023年度の開催日&開催地

北米：3月30日、Ann Arbor, MI (The Kensington Hotel)

欧州：4月4日、GERMANY (Frankfurt Airport)

インド：4月、バーチャル

中国：4月日、バーチャル

日本：4月18&19日 バーチャル (8:00 a.m. ~)

CIMdataの 2023 PLM Market & Industry Forum

本業界をリードするフォーラムで、CIMdataはデジタルスレッドのトピックを取り上げ、これらの新しく進化する要件に最も効果的に対応するために業界が直面する課題について議論します。グローバルPLMエコノミーは、これらの要件にどのように対応しているのでしょうか？PLMエコノミーの産業界の顧客は、デジタルスレッドの目標をどの程度達成で

きているのでしょうか？この2つの質問に答えるために、CIMdataは2022年後半から2023年前半にかけて各グループと実施した一次リサーチを活用します。

CIMdata 2022 PLM Market & Industry Forumは、グローバルなPLMエコノミーにおけるソフトウェアおよびサービスのプロバイダー向けの最重要イベントであり、PLMコミュニティメンバーおよびグローバルPLM市場へのさらなるインサイトを得たい企業にとって重要なものとなります。2023年度のフォーラムでは、現行の経済情勢とトレンドに関するインサイトを提供するとともに、上記で取り上げた課題 (challenges) と機会に焦点を当てて、PLMエコノミーに及ぼす影響を検証します。CIMdataの2023年のグローバルPLM市場分析結果の最初の公開リリースに加え、PLMドメイン、業界、地域全体の市場成長、そして主要なPLMソ

リューションプロバイダーの業績 (収益と市場シェア別) に関する広範な分析と予測を含み、PLM市場の現行状況と将来のトレンドについてCIMdataの視点が詳細に提示されません。

CIMdata PLM Market & Industry Forumの参加者は、現行PLM市場とそれに影響を与えるダイナミクスをしっかりと理解し、市場の継続的な進化に対する現実的な予測を明確にして展開することができます。出席者はまた、今後1年間にPLMエコノミーのナビゲートに活用できる機会とアプローチについてさらなるインサイトを得ることができます。このイベントでは、競合他社、協業者、潜在的なパートナーなど、CIMdataコミュニティに於る各社の専門家とのネットワークワーキングも可能になります。本プログラムの登録は、www.CIMdata.com にアクセスしてください。

Day 1 - Agenda - 2023年4月18日 (火) 午前8時~12時

8:00 a.m. - 8:05 a.m. はじめに (Welcome)

8:05 a.m. - 9:35 a.m.

PLMの状況 - 現行市場並びに最新トレンド (State of PLM - Today's Market and Leading Trends) - ピーター・ビレロ

このセッションでは、グローバルPLM業界の現行状況をレビューします。CIMdataはまた、新たなトレンド、このますます厳しい市場に於る関係者への潜在的な影響についての見解を示します。さらに、進化するPLMエコノミーとこれらのトレンドに対してCIMdataがどのように対処しているかについての最新情報を提供します。

9:35 a.m. - 9:45 a.m. 休憩 (Break)

9:45 a.m. - 11:15 a.m.

2023年度市場分析結果 (2023 Market Analysis Results) - スタン・ブルジビリンスキー

PLM業界の進展と方向性への包括的且つ正確な識見を持つ最善な情報源として長年に渡って認められているCIMdata 年次PLMグローバル市場の分析は、本フォーラムでまず最初の公開となり、さらなる詳細についてはCIMdata PLM MAR seriesにレポートされます。

11:15 a.m. - 11:25 a.m. 休憩 (Break)

11:25 a.m. - 11:55 a.m.

2023年度 日本市場分析結果 (2023 Market Analysis Results) - 江澤 智

前セッションに続き、このセッションでは例年通り2022年の日本市場に焦点を当てます。

11:55 a.m. - 12:00 p.m. 終わりに (Close)

Day 2 - Agenda - 2023年4月19日 (水) 午前8時~11時05分

8:00 a.m. - 8:05 a.m. はじめに (Welcome)

8:05 a.m. - 10:20 a.m.

デジタルスレッド：ビジネス変革の原動力 (The Digital Thread: Powering Business Transformation)

製品ライフサイクル全体を通じて、さまざまなアプリケーションから膨大な量のデータが生成されますが、PLM に関連するものはごく一部に過ぎません。デジタルスレッドは、現在の製品の開発、製造、そしてサポートを向上させ、また将来的にはより優れた製品を生み出すために、これらの情報を共にリンクさせることに焦点を当てた概念です。この概念は、世界の航空宇宙&防衛 (A&D) 業界に特に関連しており、CIMdataが運営するA&D PLM Action Group (AD PAG) にとってふさわしいリサーチトピックとなっています。

8:05 a.m. - 8:40 a.m.

デジタルスレッドの有望性 (The Promise of the Digital Thread)

冒頭のこのセッションでは、現行リサーチ活動の基礎となったデジタルスレッドに関する以前のAD PAGリサーチを含み、このトピックの背景について説明します。

8:40 a.m. - 9:15 a.m.

デジタルスレッド：PLMエコノミーの視点 (The Digital Thread: The PLM Economy Perspective)

多くのソリューション&サービスプロバイダーは、すでに産業界の各社の顧客でデジタルスレッドをサポートしています。CIMdataのリサーチの一環として、弊社は主要なソリューション&サービスプロバイダーから、この新しい要件に対応するために直面している課題に関する情報を収集しました。

9:15 a.m. - 9:50 a.m.

デジタルスレッド：産業界の視点 (The Digital Thread: The Industrial Perspective)

CIMdataのリサーチの一環として、弊社はオンラインのサーベイと世界の主要なA&D企業へのインタビューの両方を使用して情報を収集しました。このセッションでは、この重要な概念をより良くサポートするためのガイダンスをPLMエコノミーに提供するために、これらの調査結果を要約するものです。

9:50 a.m. - 10:00 a.m. 休憩 (Break)

10:00 a.m. - 11:00 a.m.

重要トピックのアップデート (Updates on Key Topics)

CIMdataは、PLMエコノミーに関心のあるこれ以外のトピックも調査を進めています。以下のセッションには、それらトピックに関するCIMdataの初期リサーチが含まれており、重要なインサイトを提供できることを期待しています。

10:00 a.m. - 10:30 a.m.

グリーンエネルギーtransition (The Green Energy Transition)

気候変動に対する懸念の高まりは、多くの産業において、化石燃料から再生可能でクリーンエネルギーやより持続可能な製品へと、エネルギーのエコシステムをシフトさせつつあります。企業は、温室効果ガスの排出を「ネットゼロ」にするという野心的なコミットメントで対応しています。ここでは、企業の製品およびオペレーション（サプライチェーンを含む）の二酸化炭素排出量を削減し、デジタルスレッド全体に持続可能性を組み込むための重要な側面についてレビューします。

10:30 a.m. - 11:00 a.m.

DX時代のデータガバナンス (Data Governance in the Era of Digital Transformation)

多くの場合、デジタルスレッドの取組は、企業データの堅牢性に基づいて成功あるいは失敗もしています。データガバナンスは、持続可能性を確実にするために慎重に計画し、管理されなければならないプロセスではなく、プロジェクトであると組織が信じ続けているため、真のROIには程遠い状態が続いているのです。

11:00 a.m. - 11:05 a.m. まとめ・終わりに (Closing Comments)

以上、担当：

ピーター・ビレロ、CIMdata 社長&CEO (Peter Bilello, President & CEO)

スタン・プルジビリンスキー、CIMdata VP (Stan Przybylinski, Vice President)

江澤 智、CIMdata日本代表/メタリンク

CIMdata 2023 PLM Market & Industry Forum 開催&参加要項

ご出席に際して（必ずお読み下さい）：

- ❖ 本フォーラムは**PLMソフトウェア&サービスプロバイダー向け**です。
- ❖ CIMdata 2023 PLM Market & Industry Forum - JAPANの参加費は、税込総額：89,000円（消費税：8,090円、本体価格：80,910円）です。
- ❖ 早期登録割引（“Early Bird Discount”）：2023年4月10日（月）までのご登録は、税込総額：79,000円（消費税：7,182円、本体価格：71,818円）。
- ❖ 同一組織内で複数のご参加は二人目以降、**一律**、税込総額：53,400円（消費税：4,854円、本体価格：48,546円）。但し、**同一申込&請求書**にて。
- ❖ CIMdata PLM市場調査にご協力いただいた皆さま：特別割引をします。詳細はお申込の際にお問い合わせください。
- ❖ 本フォーラムは、**バーチャルライブイベント**となります。
- ❖ 資料については、それぞれのセッションで提供します。本年度も、プレゼン資料、英語文/日本語文混合での製作を進めるべく準備をしております。一部の日本語は、後日になります。
- ❖ 参加費のお支払いはフォーラム前日までをお願いいたします。
- ❖ 当日、申込者をご出席出来ない場合は必ず代理の方をお願いいたします。
- ❖ **お申し込み**は、所定の申込書をご参照&ご利用願います。PDFファイルにダイレクト入力いただきメールの添付にて。

本年度も皆さまのフィードバック並びに私どもの経験を踏まえ、時代やビジネス環境に見合ったより充実した内容を提供&共有する所存です。皆様のご期待に添うべく計画を進めております。

本フォーラムの特徴は以下の通りです：

2023年は弊社が日本に於いてCIMdataとして1997年にPLM関連（当時はPDM）のフォーラムを開催して27年目となります。この間、フォーラムはユーザー向け、プロバイダー向けへとグローバルに先鞭をつけ発展し、ユーザー向けについては、プロバイダー各社の進展に伴い発展的解消、プロバイダー向けはグローバル共通プログラムの開発を進めて今日に至っています。

日本のほかに、米国、欧州、インド& 中国 と世界5地区向けに適切な時間帯で開催、さらなる進展となるグローバルベースで鋭意進めています。

過去、PLM業界として最も重要なメッセージを以下のように毎年、掲げて参りました：https://www.metalinc.com/Services/PLM_MIF_Top/

上記の各セッションは例年通り、ワンツーワンの日本語への逐次通訳は行いません。それにより得られる時間をより充実したプレゼンに振り向けると共に出席者皆さまのご理解を深めるために各セッション（ないし項目）毎に重要ポイントの簡便な解説（日本語）をインタラクティブに努力します。また、プレゼンテーション資料についてもオリジナル英文と可能な限り同等のレベルの翻訳並びに必要なに応じて注釈を入れてご提供しています。

以上のような、どうぞ、この大きな変化をご活用いただくと共にご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。ぜひ、現状をより正しく理解、課題を共有いただき、皆さまに於かれて有益なものになるものと信じております。

CIMdataのPLM Market&Industry Forumに於いて

- ✓ 2022年のPLMエコノミーに関するCIMdataの分析を業界に最初に公開する
- ✓ PLMエコノミーの現状について全体像を見る
- ✓ PLMエコノミーを推進しているのは何かを理解する
- ✓ PLMエコノミーのソリューションプロバイダーが互いにどのように機能しているかを知る

以下の重要なトピックの詳細：

- ✓ PLMエコノミーのレジリエンス
- ✓ 危機に直面した際の産業界のレジリエンス

CIMdataのPLM Market & Industry Forumとは？

- ✓ CIMdataの年次市場分析の最初の公開を行い、PLMエコノミーの現状について学ぶ機会を提供する。
- ✓ 来る年のPLMエコノミーのビジョンを設定をする。
- ✓ PLMエコノミーの同僚や仲間を一同に会す。

出席・参加すべき人々は？

- ✓ PLMソフトウェアやサービスプロバイダー
- ✓ PLMシステムインテグレーター
- ✓ 付加価値再販業者やチャネルパートナー
- ✓ 非PLMエンタープライズソリューションプロバイダー
- ✓ アナリストリレーションや競合分析の専門家
- ✓ 金融アナリスト
- ✓ チャネルパートナー
- ✓ 上述に於いて産業界のエンドユーザーでPLM&デジタルトランスフォーメーションに携わる人々

米国CIMdata 日本代表 メタリンク株式会社

<https://www.metalinc.com>

☎ 047-361-5850 ☎ 047-362-0472 〒271-0071 千葉県松戸市竹ヶ花西町310-31

お申し込みについて：

- ◆ 以下のPDF入力フォームに必要事項をご記入ください(直接、PDFフォーム入力、印刷不要)。CIMdataの登録には英語表記が使われます、出席者リストは日英表記(例年通り、氏名、会社名のみ)となります。
- ◆ **PMIF_2023_Japan@MetaLinc.com**に添付ファイルにてお送りください。
- ◆ 参加確認メールと共に**請求書はPDF版**にてお送りさせていただきます。
- ◆ 参加受領書(参加票)については、CIMdataからのGoToWebinarにて、"招待"メール、PLM Market & Industry Forum Japan 2023 Confirmation (Tue, Apr 18, 2023 8:00 AM - 12:00 PM JST/Wed, Apr 19, 2023 8:00 AM - 12:00 PM JST)に替えさせていただきます。受信後、お手元に大切に保管ください。また、アクセスURLも記載されます。

CIMdata 2023 PLM Market & Industry Forum - JAPAN 申込書

本フォーラムの開催&参加要項に同意し、CIMdata 2023 PLM Market & Industry Forum - JAPAN (2023年度 CIMdata PLM市場&業界フォーラム：バーチャルライブイベント)を申し込みます：

お名前 (Your Name)		姓 (Family Name)	名 (First Name)
	日本語表記		
	ローマ字表記		
電子メールアドレス (E-Mail)			
会社名 (Company)	日本語表記		
	英語表記		
部署名 (Group/Dep./Div.)	日本語表記		
	英語表記		
役職 (Job Title)	日本語表記		
	英語表記		
電話 (Phone)			
住所 (Address)	郵便番号		
	住所		
	ビルなど		
通信欄			

米国CIMdata 日本代表 メタリンク株式会社

<https://www.metalinc.com>

TEL 047-361-5850 FAX 047-362-0472

〒271-0071 千葉県松戸市竹ヶ花西町310-31